

心に広がる数学の世界を！ 多読・多聴で生きた英語を！

## 2017 SEG® 大学合格実績 (2017.8.10判明分)

<b>東京大学</b>	<b>142名</b>	<b>国公立医学部</b>	<b>合計 89名</b>	<b>早稲田大学</b>	<b>302名</b>
理科Ⅰ類	64名	医学科		<b>慶應義塾大学</b>	<b>273名</b>
理科Ⅱ類	37名	東京医科歯科大学	11名	(うち医24名)	
理科Ⅲ類	8名	千葉大学	10名		
薬学部(推薦入試)	1名	東北大学	7名	<b>私立医学部医学科</b>	<b>合計 287名</b>
工学部(推薦入試)	1名	横浜市立大学	6名	慶應義塾大学	24名
文科Ⅰ類	13名	筑波大学	5名	東京慈恵会医科大学	31名
文科Ⅱ類	11名	群馬大学	5名	順天堂大学	42名
文科Ⅲ類	5名	山梨大学	5名	日本医科大学	35名
法学部(推薦入試)	2名	信州大学	5名	昭和大学	27名
		ほか		東京医科大学	14名
				東邦大学	26名
				日本大学	7名
				東京女子医科大学	14名
				国際医療福祉大学	16名
				杏林大学	15名
				ほか	
<b>国公立大学合計</b>	<b>375名</b>	<b>私立大学合計</b>	<b>1,438名</b>		

### アクセス ▶ JR新宿駅西口より徒歩7分



# 4月入会・春期講習案内

## 目次

ご挨拶	01
1年の流れ	03
春期講習手続のご案内	04
英語多読	05
コースのご案内	07
春期講習講座案内	08
数学	11
学習の形	13
コースのご案内	14
春期講習講座案内	15
数学Extreme	17
コースと春期講習講座案内	18
特別講習・ゼミナール	19
特別対談	20
SEGのサポート	23
4月入会手続のご案内	25

**SEG®**  
Scientific Education Group

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-19-19

資料請求・お問い合わせ **TEL.03-3366-1466** 月～土 13:00～21:00

姉妹校 横浜エデュカ TEL.045-441-1551

### 入会説明会 日程 (予約不要)

	1/21(日)	2/3(土)	2/4(日)	2/10(土)	2/11(日祝)	2/12(月休)
中1	2/17(土)	2/18(日)	2/25(日)	3/4(日)	3/11(日)	
中2・3	2/4(日)	2/11(日祝)	2/25(日)	3/4(日)		

時間等詳細はWebをご覧ください。

# 学ぶ楽しさを すべての中高生に！

SEGを1981年に創立してから37年経ち、  
かつての教え子達のお子さんがSEGに通う時代になりました。

時代は変わっても、「分かった」ときの  
子供達の目の輝きは変わりません。

これからも、若い講師達と共に、学ぶ楽しさを  
中高生と共有していきたいと思います。



ふるかわ あきお  
SEG代表 古川 昭夫

東京大学理学部数学科卒  
東京教育大学附属駒場高校（現筑駒）卒  
「大学への数学」誌執筆者  
「多聴多読マガジン」誌執筆者



## 英語は、多読とネイティブの授業で楽しむ

英語は意思伝達の道具ですが、学校や普通の塾の英語学習は、文法の説明と細切れの英文の演習が中心です。しかし、時代が要求しているのは、実際にコミュニケーションに使える英語です。

SEGでは、やさしい洋書から読み始めて、直読直解力を伸ばし、ネイティブ講師による英語での授業で、会話力・作文力を伸ばします。

英語を使えるようになるには、様々な英文のパターンに触れることが一番有効であることが、近年の第二言語習得の研究や自動翻訳の研究で分かってきています。たくさん読んでいろいろなパターンに触れる多読を中心とする学習法は、単に楽しいだけでなく、暗記と問題演習中心の学習法より効率も良いのです。

実際、SEGでは多くの生徒が高3までに、ハリー・ポッターのような1冊5万語を越す洋書を楽々と読み切れるようになっていきます。

## 数学は、公式の根本原理を納得し、 難問の解法の発見を楽しむ

多くの学校や普通の塾では、公式の暗記と問題の解き方を覚えるための問題演習が中心ですが、SEGでは、その方針はとりません。

SEGでは、できるだけ少数の公式を納得して使うことで基礎を身につけ、実験し、規則を発見し、その証明を考えることで応用力を伸ばします。

解法を覚える方法は、短期的には有効ですが、それだけでは、社会に出たとき、あるいは、研究の第一線に出たとき、通用しません。社会に出たときに役に立つのは、規則を発見し、その根拠を説明する力です。

東大受験を標榜する塾には、大量の問題演習をさせるところもありますが、同じパターンの問題を大量に行い、「やり方に習熟する方法」は時代錯誤と言わざるを得ません。

実際SEGでは、それよりはるかに少ない問題演習で、東大理Ⅲに合格する生徒を毎年育てています。

## 智恵・勇気・友情を育てよう

もちろん、知識は必要です。しかし、知識だけあっても実社会では役に立ちません。それをうまく生かす智恵と、新しいことに取り組む勇気が必要です。そして、喜びと悲しみ、苦しみを分かち合える仲間がいれば最高でしょう。智恵と勇気は、いろいろな試行錯誤を通して間違いから正解にたどりつく経験や、難問にチャレンジする経験を積むことによって伸ばすことができます。洋書の読書や、数学の難問を解くことで、それらを身につけていってください。そして、授業を一緒に受けていくなかで、未来を共に生きる仲間が増えていくでしょう。

## 2017 合格者の声

SEGのおかげで、  
全ての科目を好きになれた



藤井 大雅 さん

東京大学理科Ⅲ類進学（筑駒卒）

最初に授業を受けた際、とても楽しく、本質をついた授業が受けられそうな気がしました。実際、本質的なことを楽しく解説してくれる授業が最大の魅力だと感じました。

SEGは、どの先生にも気軽に質問できる雰囲気があり、面倒見がとていい塾です。一つの問題から様々なことが学べるような良問を選んで解説してくれる授業スタイルは、深い理解に繋がりますし、入試本番と同じように問題を解くテストゼミでは、確実な実力を身につけることができました。また、多読で英語に親しむこともできましたし、SEGのおかげで、全ての科目を好きになりました。



中1～中3	春期講習	通常授業 4～6月期	夏期講習	通常授業 9～11月期	冬期講習	通常授業 1～2月期
	5日連続	週1回×12週	5日連続×2	週1回×12週	4日連続	週1回×7週

※上記は標準的なコースの授業日数です。一部のコース・講習は異なります。

季節講習	通常授業
<p>季節講習は、春期・夏期・冬期の年3回実施し、指定講習・特別講習・ゼミナールがあります。</p> <div><div>指定講習</div><p>SEGの年間カリキュラムに組み込まれている講座です。夏期は前期と後期があります。</p></div> <div><div>特別講習 ゼミナール</div><p>指定講習だけではなく、さらに新しい分野や奥深い内容に積極的にチャレンジしたい生徒のための講座です。</p></div>	<p>4-6月期・9-11月期・1-2月期の3期に分け、週1回通う授業です。</p> <div><div>選抜制</div><p>期ごとにクラス分け試験（入会試験）を行います。</p></div> <div><p>数学Extremeについては、専用のご案内プリントをご覧ください。</p></div>

SEGの1年間のカリキュラムは、春期講習から始まります。

SEGの1年間のカリキュラムは、講習も含んだ年間一貫カリキュラムで、春期講習から始まります。4月からの通常授業は、原則として春期講習の内容が学習済みであることを前提にスタートします。

4月からの入会をご希望の方も、春期講習の「指定講習」（もしくは「新規生専用講習」）を受講してください。春期講習は無試験で受講できます。

### 入会試験（クラス分け試験）

- 通常授業は選抜制です。入会時に入会試験（クラス分け試験）の受験が必要です。受験する際の参考として「入会試験参考資料」を用意しています。受付までお問い合わせください。
- 講習に入会試験が付属している講座については、別途試験のお申し込みは不要です。詳しくは、25ページ「通常授業 4月入会手続のご案内」をご覧ください。
- 合格基準点に達しない場合は、不合格となります。
- 入会後は通常授業の学期末ごとに、数学では理解度を確認するクラス分け試験を、英語多読では英語運用能力を測るクラス分け試験を実施し、次学期のクラスを決定します。

※通常授業4月入会手続については、25ページをご覧ください。

## 受講科目・コース・レベルの選択

春期講習は無試験で受講できます。パンフレットをご参照のうえ、受講科目・コース・レベルをご選択ください。開講日程・担当講師・受講料は、別紙の講座日程表でご確認ください。

### どのコース・レベルがよいか迷ったら

●説明会に参加する

▶▶▶ 説明会日程は表紙をご覧ください。詳しい時間等はWeb(<http://www.seg.co.jp/>)に掲載しています。

●判定問題で自己診断する

▶▶▶ 中2・中3数学で用意しています。

## 申 込

- 受付開始：[新中1] 1/15 (月) 13:00から / [新中2・3] 2/3 (土) 10:30から  
\*正会員（現在通常授業を受講中）の方は、お届けしたご案内をご覧ください。
- 申込に必要なもの：

- ・メイト会員登録票（初めての方のみ・写真含む）
  - ・メイト会員登録料500円（初めての方のみ）
  - ・講習申込書
  - ・受講料（現金または振込の証明となるもの）

※クレジットカードはご利用いただけません。

メイト会員登録票・講習申込書はWebからもダウンロードできます。  
[トップページ] (<http://www.seg.co.jp/>) → [入会案内]
- 申込方法：窓口または郵送にてお申し込みください。

### 【窓口でお申し込みの方】

受付場所：H教室1階受付 受付時間：月～土／13:00～19:00  
※日曜日の受付時間については事前にお問い合わせください。  
※講習中は以下の日程のみ受付時間が異なります。  
3/24 (土)・3/30 (金) 8:30～19:00

### 【郵送でお申し込みの方】

郵送先  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-19-19  
「SEG受講手続係」宛


### 【振込先・口座名】

ゆうちょ銀行 00120-4-712330  
東京都民銀行 新宿支店 普通 0331562  
口座名 エスイージー

※フリガナ・電話番号を明記のうえ、**受講生徒名**でお振り込みください。  
※振込手数料はご負担ください。ただし、SEG所定の振込用紙で左記金融機関の本・支店での取り扱いの場合、手数料は不要です。

- 以下の情報はWebでご覧いただけます（お電話でもご案内いたします）。
  - \*空席状況
    - ・SEGホームページ (<http://www.seg.co.jp/>) →[会員の方]→[講習空席状況]
    - ・SEG MyPage (<https://www.seg.co.jp/mypage/>) →[講習空席状況]
    - ※キャンセル待ちは承っておりませんので、ご了承ください。
  - \*講座の増設状況
    - ・SEGホームページ →[お知らせ]

SEG MyPage



### 講座の変更・取消

講座の変更

別の講座へ変更希望の場合は、元の申込講座もしくは変更希望先講座、**いずれか早い日程の授業初日の1営業日前まで**にお申し出ください。変更希望先が満席の場合は変更できません。

講座の取消

各講座の**授業初日の1営業日前まで**に、窓口またはお電話にてお申し出ください。お支払済の受講料から取消手数料または振込手数料を引いた金額をご返金いたします。  
\*詳細は、お申し込み時にお渡ししているご案内をご覧ください。

### おことわり

季節講習の受講にあたっては、次の点をあらかじめご了承ください。

- ①SEGでは「問題の解答の解説」よりも「解くプロセス」「解法の背景と理論」を重視しています。
- ②生徒の理解に応じて、解説する問題数を調節しますので、テキストの全問題を解説しないことがあります。
- ③受講態度に問題が見られる場合や他の生徒の学習を妨げる言動がある場合、その他講習の妨げとなる場合には、退席を命じたり受講をお断りする場合があります。

3

4



# 多読とネイティブの授業で 英語を身につけよう！

SEGの英語多読コースでは、

- ①多読・多聴授業
- ②会話・文法授業
- ③宿題としての読書

を3本の柱に、日本語に訳さず、英語で考える力を伸ばしていきます。

## ①多読・多聴授業

多読クラスは少人数の集団授業です。クラス全員で同じ本を読む一斉読みの時間と、一人ひとりが別々の本を読む個別読みの時間があります。個別読みの時間では、受講生の英語力・読書経験に合わせて個別に適切な本を読んでもいただきます。

毎年2・3の春期講習では、中1から受講している生徒が「*Nate the Great*」や「*Magic Tree House*」のような児童書の原書を読んでいる隣で、新規受講の生徒が「*Oxford Reading Tree*」のような基礎レベルの本を読んでいる光景が見られます。一方、一般書を読んでいる帰国生もいます。

なお、中1の多読クラスでは、春期～夏期は、高い理解度でしっかり読むことを重視し、語彙・文法が身につけているかのミニテストも行っています。

## ②会話・文法授業

「多読多聴R/入門クラス」を除き、すべての中学英語多読クラスでは、授業時間の半分を使って、ネイティブ講師による会話・文法授業を行います。

中1では、主として文法の新出事項を豊富な具体例で説明します。TPRS(Teaching Proficiency through Reading and Storytelling), Speaking, Writingなど多彩なActivitiesを通じて文法や語法を習得してもらいます。中2では、既習文法を使って会話演習をするともに2週に1度Writingを添削します。中3では、長文のWritingやDiscussionを行います。

## ③宿題としての読書

多読クラスの特徴は、宿題が読書であることです。授業中より、さらに自由にいろいろな洋書を楽しむことができます。宿題のレベル・量は、本人と相談のうえ、毎週調節します。

## 中2終了時に、 高3生の全国平均を上回る英語力！

初期段階から生の英語のシャワーを浴びることにより、英語を英語のまま理解できる力が育ちます。中2の2月には、ACE「英語運用能力テスト」において、多読コース受講生の平均点は高3生の全国平均を上回っています。小学校のとき、英語をほとんど習っていなかったにもかかわらず、300万語の多読の結果、中3の夏にTOEIC800点を超えた方もいます。また、帰国生でない生徒でも、中3の秋にTOEFL(iBT) 80点を超えた方もいます。

## マジック・ツリーハウス、 原書で楽しみませんか？

英語多読コースでは、ネイティブ講師による文法の解説・会話演習と併行して、非常にやさしい絵本をCDを聴きながら読むことから始めて、読む本のレベルを徐々に上げ、大量の英文に触れながら英語力をつけていきます。中1の1年間で10万語以上読み、中2では「ぼくはめいたんてい」(*Nate the Great*)、中3では「マジック・ツリーハウス」(*Magic Tree House*)、高1では、「ダレン・シャン」(*Darren Shan*)、高2では「ハリー・ポッター」(*Harry Potter*)や「プリンセス・ダイアリー」(*The Princess Diaries*)のような中高生向けの一般書を原書で読むことを目指します(英語既習者の方や意欲的な方は、もっと早い段階で上記の洋書を読めるようになります)。



**Nate the Great**  
総語数：1,585 語  
YL：1.2-1.4



**Magic Tree House**  
総語数：4,750 語  
YL：2.5



**Darren Shan**  
総語数：48,726 語  
YL：5.0-6.0

## 受験までの6年間一貫プログラム

英語多読コースは、社会に出てから必要な英語力をつけるとともに、日本国内での大学受験・海外の大学への進学も見据えたプログラムになっています。

SEGでは、多読と精読の組み合わせで、大学入試までに基本3000語＋専門用語1000語を確実に習得してもらいます。

※ネイティブ講師が教える授業についての年間予定は、Webをご覧ください。

学年	基本語彙数	多読目標語数・本のレベル
中1 中2	1000語	40万語 <i>Mr. Putter and Tabby, Nate the Great</i>
中3 高1	2000語	150万語 <i>Magic Tree House, Darren Shan</i>
高2 高3	3000語	300万語 <i>Harry Potter, The Princess Diaries, 入試評論文</i>

## 主任講師からひとこと

### 双方向の授業で楽しく英語を話そう

英語を学ぶのに、語彙や文法を習得することは必要ですが、暗記が最善の方法ではありません。言葉を習得するには、実際に使うことが大事です。SEGでは、「多読」と英語を母語とする外国人の先生の「授業」で、大量の生の英語に触れます。「授業」といっても、「講義」形式ではありません。クラスで、先生と生徒が一緒になって、登場人物を設定し英語で物語を作ったり、イラストや映像を観て、みんなで話し合う生徒参加型の「授業」です。楽しいActivitiesで、英語が話せることを目指します。



ネイティブ主任講師  
Mark Koopman  
University of British Columbia 卒



## 中1英語多読

## 中1英語多読ABCコース

4/10 (火)開講 開講曜日については、26ページをご覧ください。

授業は、日本人講師による多読の個別指導(80分)、ネイティブ講師による会話と文法の指導(80分)の組み合わせです。ネイティブ講師の授業はSEGオリジナルの教材を使用します。試験結果により、A(基礎)、B(中級)、C(上級)の3レベルにクラス分けします(1クラス14名程度)。Aクラスはこれから英語を本格的に学ぶ方が対象。Bクラスは、既に小学生の時に多少絵本の読書経験のある方、Cクラスは、既に小学生の時に1冊500語程度の絵本なら読めるようになっている方を対象とします。どのクラスでも、非常にやさしい絵本を着実に読むことから始めます。特に、3月～8月は、レベル上げを急がず、3～6冊読むごとに、表現チェックテストや、テキストの表現を用いた簡単なWritingを課し、絵本を深く読む訓練をします。**理解度が低くても、とにかく難しい本を読みたい(読ませたい)と思っている方には向きません。基礎が固まってから、ゆっくりとレベルを上げていくのがSEGの方針です。**

## 中2英語多読

## 中2英語多読BCDコース

4/10 (火)開講 開講曜日については、26ページをご覧ください。

授業は、日本人講師による多読の個別指導(80分)、ネイティブ講師による会話と文法の指導(80分)の組み合わせです。ネイティブ講師の授業はSEGオリジナルの教材を使用します。試験結果により、B(基礎)、C(中級)、D(上級)の3レベルにクラス分けします(1クラス14名程度)。

## 中3英語多読

## 中3英語多読CDEコース

4/10 (火)開講 開講曜日については、26ページをご覧ください。

日本人講師による多読の個別指導(80分)、ネイティブ講師による会話と文法の指導(80分)を併行して行うコースです。ネイティブ講師の授業はSEGオリジナルの教材を使用します。試験結果により、C(基礎)、D(中級)、E(上級)の3レベルにクラス分けします(1クラス14名程度)。

## 英語多読多聴Rコース

4/10 (火)開講 開講曜日については、26ページをご覧ください。

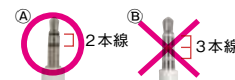
多読(英語の大量読書)・多聴(CDを聴きながらの読書)を集中的に行うコースです(高1との混成クラス)。英語への苦手意識が強い方、英語が得意でSEGでは読書を集中的にしたい方、家では読書の時間がとれないので授業中集中的に多読したい方のためのコース(1クラス14名程度)です。

※各学年、各コースの開講曜日、授業開始時刻・終了時刻は、26ページをご覧ください。



- (1) 学年表記は、4月からの新学年ですのでご注意ください。
- (2) 多読の授業では大量の本を使いますが、教室に常備していますので、図書購入の必要はありません。
- (3) 講習は、継続生や4月からの入会希望者を対象としていますが、講習のみの単独受講も可能です。

**お願い** 英語多読クラスでは、CDプレーヤーを使って授業を行います。CDプレーヤーはSEGで用意していますが、イヤホンはご自分の耳のサイズに合ったものをご用意ください。また、イヤホンは先端が④タイプのものをご用意ください。⑤タイプのもの(3本線のもの)はSEGのCDプレーヤーでは使用できません。



## 中1英語多読

帰国生等で英検準1級程度の力がある方▶個別にご相談ください。  
英語既習でレベルの不明な方は、事前にクラス分け試験を受験してください(受付にご相談ください)。

小学生のときに英語をかなり学び、英検準2級程度以上の力がある方	▶	中1英語多読C
小学生のときに英語をかなり学び、英検3級・4級程度の力がある方	▶	中1英語多読B
上記以外の方	▶	中1英語多読A

全クラス最終日に試験を行い、4月からのクラス分け・合否を判定します。

## 中1英語多読A

入会試験付

新中1英語多読 新規生専用講習  
基礎 180分×5日間 指導時の言語:英語・日本語

授業時間の半分は、ネイティブ講師の平易な英語とイラスト・写真・映像・ジェスチャーで「動詞の現在形・疑問詞・指示代名詞」を学習します。授業時間のもう半分は、日本人講師がやさしい絵本の読書、フォニックス、音読を指導します。アルファベットに自信がない方は、ブロック体を書けるように自習しておいてください。最終日の試験で、4月からの「A/B/不合格」を判定します。

## 中1英語多読B

入会試験付

新中1英語多読 新規生専用講習  
中級 180分×5日間 指導時の言語:英語・日本語

授業時間の半分は、ネイティブ講師の平易な英語とイラスト・写真・映像・ジェスチャーで「動詞の現在形・疑問詞・指示代名詞」を学習します。授業時間のもう半分は、日本人講師がやさしい絵本で読解指導をします。やさしい絵本を通じて、動詞の過去形も含めて、いろいろな英語表現を学んでもらいます。最終日の試験で、4月からの「A/B/C/不合格」を判定します。

## 中1英語多読C

入会試験付

新中1英語多読 新規生専用講習  
上級 180分×5日間 指導時の言語:英語・日本語

授業時間の半分は、ネイティブ講師がTPRSの手法を用いて、双方向の授業の中で基礎英文法を確認します。残りの半分は日本人講師が読書指導します。共通素材として、ORT2をしっかりと読んでもらい、読後に、過去形・進行形を含めて文法の確認をします。初日の英作文テストの出来具合等をみて、自由読書図書・貸出図書を選定します。**SEGの中1クラスはやさしい本をしっかりと読む方針ですので、「理解度が低くてもとにかく難しい本を読みたい」という方には向いていません。**最終日の試験で、4月からの「B/C/不合格」を判定します。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

## 中1英語多読 受講生の声

- ネイティブパートでは積極的に英語で会話をすることができて楽しかった。また、多読では自分に合った本を探すことができて良かった。(桜蔭)
- 実際にネイティブの先生と話したり本を読んだりすることで、ただ単語や文法を覚えるだけよりも楽しく感じられた。(渋谷教育渋谷)
- ネイティブパートは緊張していたけれど、笑が多く、楽しく授業ができて良かった。(駒場東邦)
- ネイティブパートは、先生が白板を使って丁寧に教えてくれたので、ついていくことができました。また、ビデオを見て物語の設定を考えたりするのが楽しかったです。(女子学院)
- 多読を続けてゆっくりと理解して人物の感情の移り変わりについて楽しんだり、同じ本を何回も読むことで理解を深めたりできる点が良かったです。まだ英語をそれほどやっていないのにもかかわらず、母に発音が上手になったと言われとてもうれしかったです。(学習院女子)

- (1) 学年表記は、4月からの新学年ですのでご注意ください。
- (2) 多読の授業では大量の本を使いますが、教室に常備していますので、図書購入の必要はありません。
- (3) 講習は、継続生や4月からの入会希望者を対象としていますが、講習のみの単独受講も可能です。

## 中2英語多読

帰国生等で英検準1級程度の力がある方▶個別にご相談ください。

英検2級以上の力がある方	▶	中2英語多読D	
英検3級～準2級程度の力がある方	▶	中2英語多読Cプラス	または 中2英語多読C
英検4級程度の力の方	▶	中2英語多読Bプラス	または 中2英語多読B

中2英語多読Bプラス/Cプラスは新規生専用講習で、多読学習のための初期指導を行います。新規生の方で受講日程が合う方は、ぜひ新規生専用講習を受講してください。

Bプラス/Cプラス/B/C/Dの全クラスで最終日に試験を行い、4月からのクラス分け・可否を判定します。

## 中2英語多読Bプラス/Cプラス ～多読と「完了形」～

入会試験付

新中2英語多読 新規生専用講習  
Bプラス基礎 Cプラス中級 180分×5日間  
指導時の言語：英語・日本語

中1の検定教科書程度の英語は理解している方を対象としたクラスです。多読・多聴は各自のレベルに合わせ、個別指導します。文法は、過去形と現在完了形の相違点、完了形の使い方を中心に解説・演習します。なお、解説はネイティブ講師が、分かりやすい英語での具体例・画像・映像を用いて行います。最終日の試験で、4月からの「B/C/D/不合格」を判定します。

## 中2英語多読B/C/D ～多読と「完了形」～

入会試験付

新中2英語多読 B/C/D 指定講習  
B基礎 C中級 D上級 180分×5日間  
指導時の言語：英語・日本語

多読・多聴は各自のレベルに合わせ、個別に指導します。文法は、ネイティブ講師が、過去、現在完了、過去完了の違いを具体例を通じて、英語で解説します。なお、ネイティブ講師の授業は、文法のみでなく、話す、書く、聴く、読むの4技能全般を伸ばすActivitiesが主体です。具体例は、画像・映像も併用します。継続生向けですが、新規生の受講も歓迎です。最終日の試験で、4月からの「B/C/D/不合格」を判定します。

## 中2英語文法速習講座

新中2英語 特別講習  
基礎～中級 180分×5日間  
指導時の言語：日本語

関係代名詞、現在完了形、受動態について日本人講師が日本語で解説します。演習用のテキストとして「モジュール式英語の基礎」(金星堂)を教室で配布します。中1基礎クラスの1月～中2の春期で学ぶ内容の重要な部分を扱います。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

## 2017 合格者の声

受験のためだけでなく、  
使える英語力が身につく多読



後藤 公大 さん

東京大学文科Ⅱ類進学(麻布卒)

多読という形式にとっても魅力を感じ、部活と両立しながら英語を楽しく学びたいと思い入塾しました。入塾当初から自分の英語力に合った本を常に提案してくださるため、簡単過ぎて飽きることも、難し過ぎて嫌になることもなく、自然な英語との触れ合いを続けることができました。ネイティブパートも同様で、英語を話すことへの抵抗感がなくなりました。先生が面白く楽しい授業なので、ぜひ受講をお勧めします。

高3では、密度の濃いハイレベルなテストゼミによって、多読や英会話による「生きた英語」だけでなく、いわゆる受験英語の対策もしっかり行うことができました。正直、SEGに入っていなければ、入試本番まで英語に足を引っ張られていたと思います。多読は、受験対策にも完璧ですが、その後の人生で使える英語力が身につくことが最大の魅力です。

## 中3英語多読

多読が初めて/多読(英語の大量読書)・多聴(CDを聴きながらの読書)を春休みに集中的に行いたい。

多読・多聴と、会話・文法・  
作文の学習を併行して行い  
たい。

英検2級～準1級程度の英語力がある

英検3級～準2級程度の英語力がある

英検4級～3級程度の英語力がある

英語多読多聴入門

中3英語多読E

中3英語多読D

中3英語多読C

全クラス最終日に試験を行い、4月からのクラス分け・可否を判定します。4月からEクラスご希望の方は、春期で「中3英語多読D」「中3英語多読E」「英語多読多聴入門」のいずれかを受講してください。

## 英語多読多聴入門

入会試験付

新中3～新高1英語多読 新規生専用講習  
基礎～上級 180分×5日間  
指導時の言語：日本語

多読が初めての方を対象に、「訳さずに読む」とはどういうことなのか、多読は本当に楽しいのかを、体感してもらいます。英語がやや苦手な方から、かなり自信のある方まで、日本人講師が個別に指導します。最終日の試験で、4月からの「R/C/D/E/不合格」を判定します。

※多読学習のための初期指導を行いますので、SEGで多読経験のある方は、**英語多読多聴R** がお勧めです。

## 中3英語多読C ～多読と「仮定法」～

入会試験付

新中3英語多読C 指定講習  
基礎 180分×5日間  
指導時の言語：英語・日本語

文法・会話は、ネイティブ講師がStorytellingの手法を用いて、「仮定法」を中心に解説・演習します。多読・多聴は日本人講師が各自のレベルに合わせて指導します。多読パートは個別指導なので、多読未経験者の方でも受講可能です。最終日の試験で、4月からの「C/D/不合格」を判定します。4月からEクラスご希望の方は、春期で、**中3英語多読D** **中3英語多読E** **英語多読多聴入門** のいずれかを受講してください。

## 中3英語多読D/E ～多読と「仮定法」～

入会試験付

新中3英語多読D/E 指定講習  
C中級 D上級 180分×5日間  
指導時の言語：英語・日本語

会話・作文は、ネイティブ講師が英語で行い、英語で物語を書くWriting演習も行います。文法は、「仮定法」を中心に解説・演習します。多読・多聴は、日本人講師が、多読経験がゼロの方から帰国生まで個別に指導します。最終日の試験で、4月からの「C/D/E/不合格」を判定します。

## 英語多読多聴R

入会試験付

英語多読多聴R 指定講習  
基礎～上級 180分×5日間  
指導時の言語：日本語

多読経験者を対象に、さらにレベルを上げていくためのクラスです。日本人講師が、英語が苦手な方から帰国生の方まで個別に指導します。やさしい絵本から始めて、現時点の英語力でぎりぎり読める本までを大量に読みます。最終日の試験で、4月からの「R/C/D/E/不合格」を判定します。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。





## 公式のもととなる考え方こそが大事！

数学の公式はとても便利です。例えば、2次方程式の解の公式を覚えれば、どんな2次方程式も数値を代入するだけで解を求めることができます。そのため、多くの学校・塾では解の公式や判別式を暗記させ、それを利用した問題演習を大量に生徒に課します。一方、SEGでは、初期の段階では、解の公式は教えず、毎回、平方完成か因数分解で解くように指導しています。解の公式を適用して解くより、1回30秒程度余分に時間がかかるので、無駄と考える方もいるでしょう。しかし、平方完成は「散らばりを減らす」技術の1つであり、「散らばりを減らす」発想は、中高の数学で幅広く応用可能な発想で、この発想を身につけることの方が重要です。2次関数のグラフや円の式、球の式も、全く同じ発想と技術で学ぶことができます。短期的には、多くの学校・塾が採用している「公式を暗記し、いろいろな問題に適用することで、公式の使い方を覚える」方法は、効率よく見えるかもしれませんが、長期的に見れば、公式のもととなる考え方、発想法、基礎技術を理解する方がずっと応用が広いのです。

### 数学の楽しみを共有したい！

SEGでは、生徒のみなさんと数学の楽しみを共有したいと思っています。数学の楽しみといってもいろいろあります。

- 新しい概念を手に入れ、以前とは違うものの見方ができるようになる楽しみ
- 実験・観察をして、規則を発見する楽しみ
- エレガントな解法に感動する楽しみ

など、人それぞれでしょう。しかし、中高生にとって一番の醍醐味は「苦労して考えて、自分で解決する楽しみ」ではないでしょうか？ この楽しみを、中高時代にできるだけたくさん味わうことをお手伝いすることが、私達の使命だと考えています。

### 主任講師からひとこと

#### 自分の力で解決する喜びを体験してほしい

数学に限らず、何かを学ぶときには、楽しむことが何よりも大切です。そして、数学を楽しむということは、考えることを楽しむことです。

SEGでは、大事な発想や感覚をしっかりと理解することで、いつの間にか見える景色が変わり、解けると思わなかった見知らぬ問題が自分の力で解決できるようになる、そんな授業を目指しています。生徒さんたちに自分の頭で考え自分の力で解決する喜びをできる限り体験してもらうために、SEGオリジナルの手ごたえがあり解いてみたくなる問題をたくさん用意しています。ぜひ授業を受けてみてください。

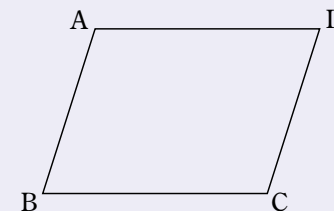
中1・2数学主任講師  
佐藤 太郎  
北海道立紋別北高校卒  
東京大学理学部数学科卒  
朝日小学生新聞にて「数学の世界をのぞいてみよう!」を連載中。



### こんな授業やってます！ 中1・幾何

【問題】平行四辺形ABCDがある。

- (1) BCの中点を定規(2点を通る直線を引くことしかできない)だけで作図する方法を考え、それが正しいことを証明せよ。
- (2) BCの3等分点を定規だけで作図する方法を考え、それが正しいことを証明せよ。



授業中、みんなが工夫して、いろいろな線を引いていきます。しかし、最初にACとBDの交点Eを作るとなかなかその先がうまくいきません。そこで先生が、「まず、直線AC、BD以外の直線を引いて考えてごらん」と助け舟を出します。すると、十数分の試行錯誤の後、何人かの生徒が、「これでいいかもしれない。先生、見て!」と言い出します。先生は、正しい方法なら、「それでいいみたいだから、証明してごらん」とアドバイスし、間違っている方法なら、「それで本当に良いか、もっと平行四辺形の形を極端にしても、中点になっていそうかどうか確かめてごらん」とアドバイスします。そして、みんなが作図法を発見したあたりを見計らって、先生は生徒と話ししながら、一緒に証明をしていきます。

### こんな問題やってます！ 中1の「平行線と比」・中2の「円周角」・中3の「三角比」

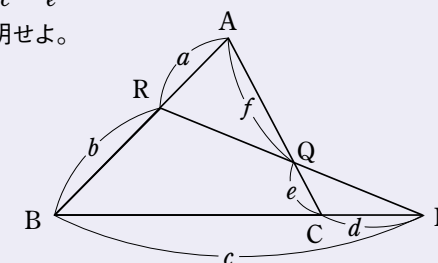
#### 中1・平行線と比

【問題1】下図において、

$AR=a, RB=b, BP=c, PC=d, CQ=e, QA=f$  とするとき、

$$\frac{b}{a} \times \frac{d}{c} \times \frac{f}{e} = 1$$

を証明せよ。



#### 中2・円周角／中3・三角比

【問題2】

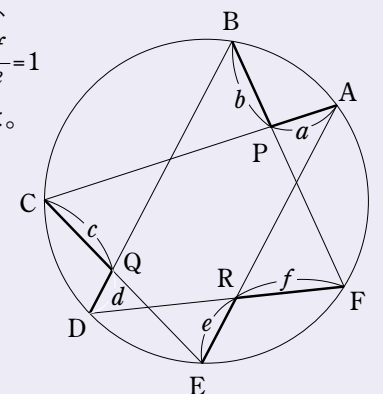
ある円に2つの三角形が内接している。

$PA=a, PB=b, QC=c, QD=d, RE=e, RF=f$

とするとき、

$$\frac{b}{a} \times \frac{d}{c} \times \frac{f}{e} = 1$$

を証明せよ。



【問題1】(メネラウスの定理)と【問題2】は、全く違う問題ですが、示すべき式は一緒です。ですから、使う定理は違いますが、「長さの比を別な長さの比に移す」という発想で全く同じように解くことができます。SEGの数学では、重要な発想法は、中学から高校までいろいろな問題で繰り返して身につけてもらいます。また、【問題2】のような面白い問題は、中2だけでなく、中3の三角比の応用としても取り上げます。



4月からの通常授業と春期講習の授業形式はほぼ同じです。春期講習を受講し、SEGの授業がお子様にあっているかどうか確認のうえ、通常授業をお申し込みされるようお願いいたします。

## 授業

講義と個別演習、対話型演習の組み合わせです。先生のスタイルにより、また、授業の内容により異なりますが、概ね次のような形で授業が行われます。

### 復習テスト

授業の冒頭の15分から30分は、前回までの授業の内容の理解度を確保する復習テストにあてられます。

### 新出事項の講義

たとえば、「図形の証明」の初回であれば、「証明とは何か」から講義します。

### 個別演習

生徒が自分自身で解く時間を用意しています。教師は机間巡視をし、間違いを指摘したり、褒めたり、ヒントを出したりします。

### 対話型演習

重要な問題や複雑な問題については、一定時間解く時間を与えた後に解説をします。その際、適宜生徒に質問し、方針や使うべき性質について確認します。



## 家庭学習

授業では、白紙の状態から新出事項を解説するので、予習の必要はありません。ただし、チャレンジ問題などを事前に予習してきていただく場合があります。復習は必須です。

### 宿題

毎週、得意な方で20分、苦手な方でも1時間程度で解ける宿題を課します。この宿題を解くことが復習となります。部活動や学校で忙しい方でも十分にこなせるよう、適度な量となっています。これができていれば、中学生の間は、その他に問題集等をこなす必要はありません（宿題が解けない場合には、しっかりとノートを見返して復習してください）。宿題は毎回提出していただき、添削して返却します。

### 発展課題

余裕のある方、意欲的な方のために、毎回、発展課題（チャレンジ問題）を3題前後用意しています。SEGで力をつけ、東大や難関医学部に合格した生徒のほとんどが、中学時代にチャレンジ問題に取り組んでいます。

## クラス分け試験

学期ごとに、理解度確認を兼ねたクラス分け試験があります。

## 中1数学

### 中1数学ABコース

**4/10 (火) 開講** 開講曜日については、26ページをご覧ください。

文部科学省学習指導要領の中1・2数学の内容+ $\alpha$ を1年間で講義・演習します。基礎から標準問題まで、類題演習も豊富に行うAクラスと、基礎から発展問題まで、より幅広い話題について講義・演習するBクラスがあります（1クラス20名程度）。

	春期講習 3時間×5日	4-6月期 3時間×12週	夏期講習（前期・後期） 3時間×5日×2	9-11月期 3時間×12週	冬期講習 3時間×4日	1-2月期 3時間×7週
AB	文字式と数列	正負の数、文字式、 1次方程式・連立方程式、 座標平面・1次関数	幾何の公理・図形の計量・ 図形問題の証明・ 合同・平行四辺形	平行線による比の 移動・相似、確率	三角形の五心	整数、座標幾何

## 中2数学

### 中2数学BCコース（3月～翌年2月）

**4/10 (火) 開講** 開講曜日については、26ページをご覧ください。

1次関数、合同・相似の証明が既習の方を対象に、文部科学省学習指導要領の中3数学+ $\alpha$ を学習します。基礎から標準問題まで、類題演習も豊富に行うBクラスと、基礎から発展問題まで、より幅広い話題について講義・演習するCクラスがあります（1クラス22名程度）。

### 中2数学Xコース（3月～6月）

※夏期講習より、中2数学BCコースに接続

**4/10 (火) 開講** 開講曜日については、26ページをご覧ください。

1次関数、合同・相似の証明が未習の方を対象に、1次関数、幾何の証明から始め、夏期講習から中2数学BCコースに合流します。

	春期講習 3時間×5日	4-6月期 3時間×12週	夏期講習（前期） 3時間×5日	夏期講習（後期） 3時間×5日	9-11月期 3時間×12週	冬期講習 3時間×4日	1-2月期 3時間×7週
BC	平方根	展開・因数分解、 平方完成と2次方程式	円周角	2次関数	2次関数、立体図形	幾何総合演習	場合の数
X	幾何の証明、 1次関数	平方根、展開・因数分解、 平方完成と2次方程式					

## 中3数学

### 中3数学CDコース（3月～翌年2月）

**4/10 (火) 開講** 開講曜日については、26ページをご覧ください。

文部科学省学習指導要領の中学数学既習者を対象に、確率から始めて、2次関数、図形と式、三角比、いろいろな関数のグラフなどを学習します。基礎から標準問題まで、類題演習も豊富に行うCクラスと、基礎から発展問題まで、より幅広い話題について講義・演習するDクラスがあります（1クラス25名程度）。

### 中3数学Xコース（3月～8月）

※9月より、中3数学CDコースに接続

**4/10 (火) 開講** 開講曜日については、26ページをご覧ください。

文部科学省学習指導要領の中3数学の内容が未習の方を対象に、展開・因数分解から始め、9月から中3数学CDコースに合流します。

	春期講習 3時間×5日	4-6月期 3時間×12週	夏期講習（前期） 3時間×5日	夏期講習（後期） 3時間×5日	9-11月期 3時間×12週	冬期講習 3時間×4日	1-2月期 3時間×7週
CD	確率と期待値	三角比、 2次関数（発展編）	座標平面での 直線・円	整数	整式と方程式、 いろいろな関数とグラフ	最大最小問題	数列
X	2次の代数と ピタゴラスの定理	2次関数		三角比			

※各学年、各コースの開講曜日、授業開始時刻・終了時刻は、26ページをご覧ください。



- (1) 学年表記は、4月からの新学年ですのでご注意ください。  
 (2) 講習は、継続生や4月からの入会希望者を対象としています。講習のみの単独受講も可能です。

## 中1数学

クラスはAとBの2レベルあります。

A：中学入試で算数がやや苦手だった方、付属小学校から中学に進学予定の方を対象としています。

B：筑駒、開成、桜蔭、駒東などの難関中学に進学予定の方を対象に、ハイレベルな授業を行います。

## 中1数学A/B ～文字式とその応用～

入会試験付

新中1数学A/B 新規生専用講習  
 A基礎 B上級 180分×5日間

算数と数学で大きく違うこと、それは、任意の数を表す文字を使って考えることです。この講座では、①「文字を使って規則性を表すこと」、②「文字式を変形して規則性を説明すること」を手と頭を使って実践してもらいます。

Aクラスでは、 $54 \times 54 - 55 \times 53$ や $46 \times 44$ が簡単に計算できることなどの理由を文字式を使って説明します。

Bクラスでは、 $1 \times 1 + 2 \times 2 + \dots + n \times n$ の和の公式の作成に挑戦します。

最終日の試験で、4月からの「A/B/不合格」を判定します。

## 中1数学 受講生の声

- 先生の説明も分かりやすく、数学を深くまで極めることができて良かった。(開成)
- 先生が解き方を押しつけて教え込むのではなく、先生からヒントなどを少しもらい、私たちが自力で解くというところが良かった。また、宿題も多すぎないため、解ききることができた。(桜蔭)
- ただ記憶するだけではなく、仕組みを理解することでより頭に入った。この5日で数学がとても好きになった。(筑附)
- 授業は一つひとつ丁寧にやってくれたのでとても分かりやすく、とても面白い問題がたくさんあったので、楽しく授業を受けられました。(浦和明の星)

## 中2数学

1次関数、合同・相似の証明が既習の方

中2数学B/C

1次関数、合同・相似の証明が未習の方

中2数学X 入会講座

※数学の受講コース・クラスを迷われる方向けに、「判定問題」を用意しています。「判定問題」はWebでもご覧いただけます。  
 [トップページ] (<http://www.seg.co.jp/>) → [春期講習から始めよう!] をご覧ください。

## 中2数学B/C ～平方根とその応用～

新中2数学B/C 指定講習  
 B基礎 C上級 180分×5日間

2乗して2になる数を2の平方根といいます。このような数は、2つあり、正の方の数を $\sqrt{\quad}$ （ルート）という記号を使って、 $\sqrt{2}$ で表します。 $\sqrt{2}$ は、1.41くらいの数です。この新しく登場した数は、意外と身近な場所に隠れています。例えば、皆さんのノートなどに使われているB5やA4という紙の大きさの紙の縦・横の比は $\sqrt{2}$ となっています（なぜでしょう?）。平方根とその応用について学びます。

## 中2数学X入会講座 ～1次関数・幾何の証明～

入会試験付

新中2数学X 新規生専用講習  
 基礎～中級 180分×5日間

①1次関数 ②三角形の合同 ③平行四辺形を学びます。多くの内容を扱うので、復習は必須です。最終日の試験で、4月からの「Xクラスの可否」を判定します。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

## 中3数学

$y = ax^2 + bx + c$ のグラフ、2次不等式が既習の方

中3数学C/D

文部科学省学習指導要領の中学数学が修了し、 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフ、2次不等式が未習の方

中3数学CD入会講座

文部科学省学習指導要領の中3数学が未習の方

中3数学X入会講座

※数学の受講コース・クラスを迷われる方向けに、「判定問題」を用意しています。「判定問題」はWebでもご覧いただけます。  
 [トップページ] (<http://www.seg.co.jp/>) → [春期講習から始めよう!] をご覧ください。

## 中3数学C/D ～確率と期待値～

新中3数学C/D 指定講習  
 C基礎 D上級 180分×5日間

サイコロの目は振ってみないと何がでるかは分かりません。だからといって、数学で扱う対象とはなりえないかといえばそんなことはないのです。この講習では、起こりやすさの程度を仮定したり、あるいは何が同様に確からしいのかを仮定して、事象が起こる確率の計算法を学びます。

## 中3数学CD入会講座 ～2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ ～

入会試験付

新中3数学C/D 新規生専用講習  
 基礎～上級 180分×5日間

2次方程式の解法を既習の方を対象に、一般の2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフ、2次不等式を学び、4月からCDコースに接続します。最終日の試験で、4月からの「C/D/不合格」を判定します。

※余裕のある方は、**中3数学C/D 確率と期待値** も受講してください。

## 中3数学X入会講座 ～2次の代数とピタゴラスの定理～

入会試験付

新中3数学X 新規生専用講習  
 基礎～中級 180分×5日間

文部科学省の中3数学の代数（展開・因数分解、平方根、2次方程式）およびピタゴラスの定理について、基本から応用までを講義・演習します。単なる計算演習にとどまらず、方程式を立式して、それを解くという応用問題も扱います。最終日の試験で、4月からの「Xクラスの可否」を判定します。

この他に、**フェルマーの小定理へとつながるフィボナッチ** があります。19 ページをご覧ください。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

## 2017 合格者の声

### 数学の概念を一つずつ理解することができた



佐伯 陽平 さん

東京大学理科Ⅱ類進学 (私) 芝卒

僕は中2からSEGの中学数学を受講しました。もともと多読を受講しており、SEGで学ぶことの楽しさを知り始めたことが受講のきっかけでした。

数学を受講する前は演習問題をみっちり3時間解き続けるような厳しい授業を想像していました。しかし実際にはそんなことはなく、中学生が楽しく数学の考え方を学べるような授業進行となっていました。この授業形態のおかげで、公式暗記ではなく概念を一つずつ詳細に理解することができました。また学校の試験でも特に苦労することなく上位をキープすることができました。

中でも一番恩恵を得られたのは大学受験の時でした。公式暗記でなかなか数学をやってきた受験生が少しひねった問題で悩んでいる一方で、僕はSEGで培った考え方でそれらの問題を難なく解くことができました。



冒険は、自由だ！  
～数学＝実験＋発見＋大冒険～

数学Extremeコースは、「実験・発見・大冒険！」をスローガンに、数学をあくまで単なる素材にとらえ、中学生の時にしておくべき思考力・発想力を磨き上げることを目指した、独自のカリキュラムのコースです。ただ並んでいる問題を解いていたり、知識を詰め込んでいくだけではなく、一つひとつの問題で味わったことをもとに、新たな解法を探究したり、一歩先の問題を自ら作り出したり、ということに重きを置いて授業が進んでいきます（みんなが興味を示さない問題は、とばしてしまうこともあります！）。数学の問題の上を自由に冒険していくのです。時に、解決するかどうか、生徒のみならず講師も分からないような問題に取り組んだりすることも！ **先生と生徒の真剣勝負の場**、それが「数学Extreme」の教室です。

まずは、手を動かすこと！

取り組む問題を自分のものにするには、何より、その問題と密に接することが肝要です。Extremeの授業では、まずは紙の上で生徒のみなさんに「実験してもらう」ことをとても大切にします。例えば、「 $2^{100}$ の10の位は？」という問題に出くわしたのなら、何はともあれ「2, 4, 8, 16, 32, 64, 128, ……」と、2の累乗数を実際に列挙していってもらったりします。答を出すことよりも、答を出すきっかけを見つけてもらう、ということに大切にすることです。もちろん、考え方を講師が生徒に伝えてしまうのが、「解けるようになる」にはもっとも早いわけですが、通常の「数学の授業」ではできない遠回りをすることは、何か規則を見つける、見つける喜びを得られることにつながります（時に、とんでもなく脱線する＝思いもよらない話へと進んでしまう、こともあります）。

基本は月1回！ 数学クラブの感覚で！

数学Extremeコースは、基本的に月1回（原則日曜日）のペースで開講されます。開講回数が少ない分、1回の授業は5時間半～6時間（休憩時間を含む）と、やや長めになっています。Extremeの教室では、仲間とともに、自ら解決する喜び、他者の考え方を共有する喜びを味

わい、普段の生活の中では、自分ひとりでじっくりと問題を考えることで、数学力に加えて、応用力・発想力・表現力を伸ばしていくことができます。月に1回の開講ですから、皆がライバル、というより、皆が友達、といった雰囲気の教室になります。まさに、数学クラブのイメージです。

可能性は無限大！

数学Extremeコースは、数学のエリートのみを集めたクラスではありません。考え方を共有したり、数学そのものを楽しむことに、点数のうえでの「頭の良さ」は必ずしも必要がないからです。ですが、自ら興味を持って問題に取り組む意欲のある生徒さんにとっては、これ以上ないチャンスの方であるともいえます。毎回、教室の中で取り組める問題は少数ですが、自習用（というより、自ら取り組むための）問題や、授業で登場する、その場で出てくる「謎」は、非常に刺激的なものばかりです。そして、そういった問題一つひとつを共有し、語り合える仲間がいる場所がExtremeの教室なのです。実際に、数学オリンピックや広中杯（全国中学生数学大会）で、過去そして現在、数多くの入賞者が現れるのも、彼らが彼らなりにExtremeの場を活かしてくれていたということでしょう。

中1生対象の「数学Extreme $\alpha$ 」と、中2・3生対象の「数学Extreme $\beta$ 」があります。みなさんの思考力・発想力を、数学を通して引き出すこと、育てることを目的としたコースのため、学校の進度やSEG数学本科のカリキュラムとは完全に異なります。

数学Extreme $\alpha$ （新中1対象）

◆年間カリキュラム

春期講習	帰納的な考え方	夏期講習	角度の問題に挑む	1月	ゲームの必勝法
4月	余りの世界	9月	連分数の不思議	2月	組合せと数えあげ
5月	べき乗数の秘密	10月	数の表わし方のさまざま		
6月	フィボナッチの数列	11月	数学ゲーム		

※冬期には開講しません。  
・[授業時間] 10：00～15：30（休憩含む） ・春期講習、月1回授業とも、**無選抜制**です。  
・[2019年度への接続] 数学Extreme $\beta$ クラスへ接続します。

数学Extreme $\beta$ （新中2・3対象）※中2・3の合同クラス

◆2018年カリキュラム

春期講習	難問に挑むということ	6月	幾何の不変量	11月	ひきだし論法Ⅱ
4月	三角形の五心	9月	飛んで・飛んで、の数学	1月	対応付けと組合せ
5月	幾何の不等式	10月	漸化式の見方	2月	数理ゲーム

◆2019年カリキュラム

春期講習	難問に挑むということ	6月	変わらないものに着目	11月	ひきだし論法Ⅰ
4月	平面・空間の敷き詰め	9月	ベアにするという考え方	1月	抽象的な幾何の問題
5月	色づけの問題	10月	実例探しの問題	2月	アルゴリズムを考える

※夏期・冬期には開講しません。  
・[授業時間] 10：00～16：00（休憩含む） ・数学Extreme $\beta$ は2年一貫のカリキュラムです。  
・春期講習は**無選抜制**です。月1回授業は**選抜制**です。詳細は、専用の案内プリント、試験要項にてご確認ください。  
・[2019年度への接続] 中2生は、数学Extreme $\beta$ 2年目に接続します。中3生は、2018年度で修了です。

春期講習講座案内

数学Extreme $\alpha$  ～帰納的な考え方～

新中1数学Extreme $\alpha$  **新規生専用**講習  
330分（休憩含む）×1日間

ものを考えるうえで一番かんたんなことは、「順番に考えていく」というものです。この授業では、「とっても難しそうな問題」をどうすれば順番に考えることができるだろうか？ ということを中心に、順番に考えることの大切さと面白さを味わってもらいます。「順番に考えていく」ことは、同時に「実験してみる」ということでもあります。Extremeコースに興味がある方、参加を考えている方に向けての入門講座です。

数学Extreme $\beta$  ～難問に挑むということ～

新中2・3数学Extreme $\beta$  指定講習  
360分（休憩含む）×1日間

難問に挑むのは、巨大な氷の壁をコツコツと砕いていくことに似ています。もちろん根気も必要ですが、取り組みつつも、効率の良い砕き方を発見したり、壁のもろい部分を探し出したり、ただ黙々と取り組む以外にも、いろいろと楽しめる要素があるのです。この講習では、4月からのExtreme $\beta$ の授業に先立って、「難問に挑む」ということがどういうことなのかを味わっていただきます。取り組み問題はたったの2題！ 全く歯がたたない状態からスタートして、まるで氷が溶けていくかのように、徐々に解決へと向かうさまを体験してください。もちろん、単に講師がヒントを言うだけでなくではありません。講師はただの案内役にすぎません。巨大な敵を倒す喜びを、ぜひ一緒に味わってみませんか？  
※昨年の同名講座との内容重複はありません。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。



英検対策講座 準2級/2級/準1級/1級

英語 新中1～新高3 特別講習  
180分×5日間

今年度第1回の準2級・2級・準1級・1級の1次試験の受験者を対象に、合格に必要な実戦力を養います。**準2級と2級**は、文法・語法の基本を確認する問題、敬遠されがちな長文の空所補充と内容一致選択問題、一定の型に慣れると分かりやすいEメール・手紙文の問題、課題英作文に対する取り組み方を中心に、講義と演習を行います。**準1級と1級**は、語彙表現と句動詞の選択問題、同意語と反意語、語数の異なる長文の空所補充と内容一致選択問題、条件付き課題英作文とパラグラフ・ライティングに重点を置いて、講義と演習を行います。各級共に時間の許すかぎり、リスニング問題にも挑戦します。**準2級・2級・準1級・1級はレベルの異なる4つの別講座**で、テキストもそれぞれ別のものを用います。英検は資格試験で入試に直結するものではありませんが、2級試験は、リスニングを含め、レベル・出題形式・問題数が**大学入試センター試験**に似ているので、2級受験はセンター試験の準備としても有効です。なお、講習期間中に実戦形式の模試（リスニングを含む）を行い、受講生一人ひとりにつき合格の可能性を判定します。（池田重彦）

フェルマーの小定理へとつながるフィボナッチ

数学 新中3～新高3 特別ゼミナール  
180分×5日間

フィボナッチ数列に数多くの魅力的な性質があることは世に広く知られています。この講座では、その中でも「フィボナッチ数列と素数の関係」にスポットを当てます。組合せの考え方を用いてその関係を追及していくと……その先には「フェルマーの小定理の拡張」をはじめ、予想を越えた様々な結果が待っているのです。この春、あなたもちょっと素敵なフィボナッチ探究の旅へと出てみませんか？（青木亮二）

速読による能力訓練 ～日本語の速読訓練です～

新中3～新高3 特別講習  
180分×5日間

『何をするのかと思ったらとんでもないことをやった』というアンケートを読み、面白半分受講を決めた。結果は『マジでとんでもないことをしてくれた。絶対一度受けた方がいい』と思った」（講習受講アンケートより／高2男子）読書が苦手になりかけている方には読む楽しさを、本好きな方にはハイパーな速読の世界を体験していただきます。速読とはいっても奇術的なものではなく、むしろこれまで見過ごされてきた**本の読み方の深化・徹底化**をめざす内容です。'95年夏からスタートし、現在23年目、7,900名を超えるSEG生が受講しています。

（クリエイト速読スクール 松田真澄）

※この講座をベースにしたプログラムは**生涯学習のユークャン**の通信講座にも採用されています。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

2017 合格者の声

点数が大幅に上昇し  
解答スピードも上がった



齋藤 絵里香 さん

慶應義塾大学医学部進学（白百合卒）

SEGでは中1から英語多読を受講していましたが、数学の成績が伸び悩んだ時期に友達に勧められて数学も受講するようになりました。

SEGは、とにかく先生も生徒も明るい雰囲気なのが大きな特色です。特に多読の場合は、学校外の友達が大勢できたうえに、英語をたくさん話す機会も与えられるなど、活気に満ちたクラスでした。

先生と生徒の距離が近く、質問などもしやすい環境で学んでいくうちに、苦手に感じていた数学も本来の面白さを知り、いつしか苦手意識を克服できました。授業内容が頭に残りやすかっただけでなく、自分の弱点も効率的に把握することができたため、問題を解くスピードも上がり、テストの点数も大幅に上昇しました。SEGの先生方の分かりやすい授業は、苦手科目の克服にとっても効果がありました。

SEG×河合塾

特別対談



大学入試改革に対応して  
中高時代にどのような学びが  
求められるのか

2020年度から、大規模な大学入試改革が予定されています。文部科学省や国立大学協会から実施の方針が公表されており、次第に具体的な方向性が明確になってきました。これまでの入試とどのような違いがあり、それに対応するためには中高時代にどんな学びが求められるのか。SEGが提携している河合塾の教育イノベーション本部の信実秀則本部長と、SEGの古川昭夫代表が語り合いました。

センター試験に代わる共通テストの  
国語、数学で記述式問題を出題

——2020年度以降の大学入試において、どのような改革が予定されているのですか。

**信実** 2017年7月、文部科学省が2020年度からの改革の方針を発表しました。センター試験に代わって「大学入学共通テスト（以下、共通テストと記載）」が導入されることが、最も大きな変更点です。センター試験がマークシート方式だけだったのに対して、共通テストでは国語と数学で記述式問題も課されます。国語は現行の80分に、20分試験時間をプラスして、現代文の記述式問題が出題されます（古文、漢文は出題されない）。モデル問題を見ると、ある町の景観保護ガイドラインを素材文にするなど、典型的な論説文や物語文ではなく、日常生活に密着した文章を読んで、自分の意見を記述させる形になっています。短期間で大量の答案を採点しなければならないため、おそらく素材文の中に解答のヒントが

あり、キーワードを使って指示字数内で記述できているかどうか採点の指標になると予想されます。

**古川** 実生活で接することが多い文章を素材文にする方向性自体は賛成です。問題は、記述式の成績を合否にどう反映させるかということです。

**信実** 3～5段階の段階評価にする見込みです。

**古川** 現実には各段階を点数化して使うことになるでしょう。記述式問題を重視したい大学なら、配点を高くして加算すればいいわけです。あるいは2段階選抜で、一定の点数以下なら2次試験を受験できないという方法も考えられます。

**信実** 国立大学協会は共通テストの使用法に関して、ガイドラインを各大学に示すことを検討しています。11月に公表された基本方針では、国立大受験者には全員に記述式問題を課すことが示されました。具体的な活用方法については、段階評価を点数化して、マークシート方式の得点に加算するとし、記述式問題の配点は一定程度以上にすることが検討されているようです。つまり低い



配点比率にしないようにして重視する意向のようです。  
——数学の記述式問題はどのような形になるのですか。

**信実** 最終解だけを記述させる形です。本来、記述式問題を導入する狙いは、解法のプロセスを書かせることで、部分点が与えられるところにあるはずなのですが、最終解だけなので、どこまで何を考えたのか、配慮されないことになります。マークシート方式の時のように、当て推量で選んだ選択肢がたまたま正解だったというケースがなくなるという点では意味はあります。

**古川** 当て推量を避けたいのなら、アメリカの大学のよう、間違った答にマークしたら減点にすればいいのです。分からない場合はマークしない方がいいことになれば、適当にマークする受験生は減ります。いずれにしても、最終解だけの記述であれば、正直なところ、難関大学を目指している生徒にとっては、記述式問題が加わるからといって、ほとんど影響はないでしょう。普段の学習が報われない形になるわけではなく、特別な対策は必要ないと思います。

### マークシート方式でも思考力、判断力、表現力を重視する出題に

——そのほかに、共通テストの導入による変更はありますか。

**信実** 2017年11月、19万人の試行調査（プレテスト）が実施され、その状況を見ながら、最終的にどんな問題を出すのか検討が進められます。確実なのは、これまで批判が大きかった知識・技能を問う問題から、思考力・判断力・表現力を問うことにウエートを置いた問題への転換です。また、選択肢も少し複雑になりそうです。たとえば従来、正解は1つでしたが、2つ以上正解がある

問題の出題も検討されているようです。科目によっては答えを4～5の選択肢の中から選ぶのではなく、例えば答が4.0なら、1の位は4、小数点1位は0の部分マークさせる方法も想定されています。それによって多少難易度は上がるでしょう。

**古川** 選択式にするよりは、数字をマークさせる方が偶然の正解を避けられ、望ましいことは確かです。けれども、そこまで手間をかけるだけの価値があるのでしょうか。個人的には、共通テストは2段階選抜に用いるだけにして、各大学の個別試験で工夫して、思考力、判断力、表現力をきちんと問える問題を出せばいいのではないかと考えています。また、少し気になるのは、共通テストの難易度が上がると、平均点は確実に下がるということです。医学部受験生などはこれまでセンター試験で満点近くを要求されていたから、それが多少緩和されるメリットはあるかもしれません。

**信実** 先ほど、国語の記述式問題で触れましたが、マークシート方式でも、日常よく目にするような文章が素材文に増えると思われます。教科書や参考書だけを使った受験勉強を狭く捉えた勉強方法ではなく、新聞も含めて生活に密着した文章を読んで、家族や友人と意見を交わす習慣を身につけておくことが、思考力、判断力、表現力の向上につながると思います。

### 東大、京大、東北大など国公立大で推薦・AO入試のウエート高まる

——2016年度入試から、東大で推薦入試、京大で特色入試が導入されました。同様の動きは広がるのでしょうか。

**信実** 国立大学協会では、推薦・AO入試の定員比率を3割程度に高めるとの方針を打ち出しています。旧帝大では東北大の推薦・AO入試の定員比率が2割を超えています。すでに私立大は約半数が推薦・AO入試で入学していますが、今後、国公立大でもウエートが高まることは確実な情勢です。

——どんなタイプの生徒が合格しているのですか。

**信実** 東大の推薦入試は、入学時点で所属学部を決めます。そのため、志望動機や将来のキャリア設計が明確な生徒が合格しやすい傾向にあると分析しています。国際科学オリンピック等で上位の成績を収めている生徒は、とくに強みを発揮しています。注目されるのは、センター試験が課され、一定のラインをクリアすることが合格の条件になっているのですが、センター試験が高得点でも不合格、逆に低得点でも合格になるケースが出ていることです。知識・技能よりも、高校時代の学びの履歴や面

接が重視されていることが分かります。

**古川** SEGからも合格者が出ていますが、国際オリンピックの入賞者は全員合格しています。京大は部活動や短期留学の成果などもアピール材料になるようです。総じて言えるのは、詰め込み型のガリ勉タイプではなく、部活動や学校行事などにも積極的に取り組んだ生徒が合格しやすいということです。

**信実** 東大の推薦入試は競争率が低めになっています。2017年度の平均競争率は2.4倍で、薬学部1.5倍、教育学部1.2倍のように、1倍台の学部もあります。

**古川** 多様な生徒を入学させることが目的であり、特定の高校からの入学を防ぐために、男女別学校は1校1人、共学校は男女1人ずつしか推薦できませんから、当然、競争率は低くなります。高校側でも自信を持って送り出せる生徒しか推薦しませんから、都内の難関進学校の生徒はほぼ確実に合格しています。

### 出願資格、加算方式など様々な形で英語の外部テストを活用

——英語の入試改革も注目されていますが。

**信実** ちょっと複雑なのですが、従来のセンター試験で行われていた「読む」「聴く」能力を問う試験は、共通テストでも2023年度まで継続します。一方で「書く」「話す」能力を含めた4技能を、入試において何らかの形で評価するように求めています。方法は各大学の裁量に任されているのですが、個別試験で評価するほかに、急速に進行しているのが外部テストの活用です。一般入試では国公立大が2016年度5%→2018年度10%、私立大は2016年度10%→2018年度24%、推薦・AO入試ではもっと多く、2018年度入試で国公立大は35%、私立大は41%が外部テストを活用しています。活用法は様々ですが、「一定の基準を満たさないと出願できない」「英語の個別試験を免除して、外部テストの成績を得点換算する」「個別試験は実施するが、外部テストで一定以上の成績を収めていれば加算する」などがあります。国立大学協会では、国立大学志望者に共通テストと外部テストの両方を受けることを義務づけるとともに、外部テストの活用法については、出願資格あるいは加算方式の2案を検討しているようです。

**古川** 難関大学では出願資格にしてもあまり意味はないでしょう。たとえば東大受験生なら全員がクリアすると思われますから。

**信実** 東大などは高い基準にする可能性はゼロではないと思います。

**古川** いえ、あまり極端なことはしないと思います。それよりも早稲田大国際教養学部の加点方式が現実的で、難関大学のスタンダードになっていく可能性が高いでしょう。同学部は従来の200点満点を185点満点にして、外部テストで15点分を加算する方式を採用しています。英検を例にとると、1級15点、準1級10点、2級5点を加算されます。早稲田を目指す生徒なら2級は十分にクリア可能ですし、逆に1級合格はかなり困難ですから、現実的な差は準1級と2級の5点差ということになります。有利には違いはありませんが、個別の学科試験の185点分で巻き返し可能な差でもあります。

——どの外部テストが対象になるのですか。

**信実** 11月に大学入試センターから認定試験に申し込む要件が公表され、各団体が応募して、2018年3月までにどの外部テストが認定されるのか決定します。

**古川** 特定のテストを排除するのは考えにくく、おそらく社会的に認知されている外部テストはすべて認定されるでしょう。大学によって、外部テストごとにどの程度の成績をどう評価するのか、かなり異なりますから、募集要項でしっかり確認することが大切になります。

——新しい大学入試に対応するために、中高時代に気をつけておくべきことをアドバイスしてください。

**信実** 学んだことを単に知識として身につけることだけに終わらせず、知識を思考、表現、伝達につなげるような積極的な学習姿勢が、これまで以上に求められます。

**古川** 同感です。それは大学入学後、あるいは社会に出てから必要になる力でもあります。与えられた問題に対応するだけでなく、日常生活の中で常に疑問を抱き、思考の幅を広げていってほしいと思います。

（対談日：2017年11月9日）



代表  
SEG  
古川 昭夫



河合塾  
本部  
信実 秀則  
教育イノベーション本部



## 授業外のサポート

### ●進路・学習・入試相談

受験についてのご相談（志望大学・学部を選択・学習計画・入試情報等）、受講相談、普段の授業で気になることや困っていることなど、あらゆるご質問・ご相談を承っています。H教室1階受付でお申し出ください。

個別相談専用電話番号 ▶ 03-3366-5530(月～土／13:00～21:00)

Web ▶ [トップページ] (<http://www.seg.co.jp/>) → ページ下部の[お問い合わせ]



会員相談室(H教室1階)

### ●集中できる自習環境

授業前の自習には、ぜひ自習室をご利用ください。仲間と切磋琢磨して「一緒に合格する」というのがSEGの伝統です。開室予定は、Web、H教室1階の掲示、テキストに掲載しています。

\*講習期間中は、中1～高2生は、受講している講座の開講期間のみ利用できます。



自習室(T教室2階)

### ●参考書・洋書の閲覧

自習室の隣の図書室では、各種参考書、過去問題集などを見ることができます。また、英語関係では、比較的やさしい絵本や児童書などから、難易度の高いノンフィクションや長編小説まで、様々な洋書を数多く揃えています。



図書室(T教室2階)

### ●講師に相談

授業前後、講師は講師室に在室しています。授業の前後や休み時間を利用して、講師に直接質問をすることができます。授業で分からなかったところなどは放置せずに、積極的に質問しましょう。

\*講師室に直接お越しいただくか、事前にご連絡ください。

### ●チューターに質問・相談

大学生・大学院生のチューターが皆さんの質問を待っています。授業中に聞きそびれた質問をしたい時、なかなか解けない問題のヒントが欲しい時など、お気軽にご利用ください。チューターは主にSEG出身の現役の大学生・大学院生です。

\*開室予定は、H教室1階の掲示またはWeb  
[トップページ] (<http://www.seg.co.jp/>) → [会員の方]  
で確認できます。右記からもアクセスできます。



講師室(T教室1階)

### ●待合室

授業の前後に、ご自分の教室でも食事をおとりいただけますが、食事のとれる待合室を用意しています。もちろん、保護者の方との待ち合わせにご利用いただくこともできます。



チューター室(T教室1階)

### ●救護室

救護室を用意しています。体調が悪いときは無理をせず、遠慮なく担当講師、または受付にお申し出ください。



待合室(T教室1階)

### ●警備

みなさんの安全のため、授業前～授業後、通塾路・建物内で警備を行っています。最後の生徒さんが帰られるまで警備員が立哨していますので、安心してお通いいただけます。教室の場所が分からないなど困ったことがありましたらお気軽にお尋ねください。授業初日には教室割表も配布しています。また、各教室には、防犯カメラが設置されています。

## 欠席しないでください

SEGでは、学年・科目・コース・レベルごとにカリキュラムは統一されていますが、各クラスの生徒の状況に合わせて担当講師が創意工夫して教えています。従って、クラスによって、各回の授業内容や宿題が異なることがあります。また、前の週の授業内容を踏まえて次週の授業が行われます。そのため、できる限り登録クラスに休まず出席してください。

### クラス変更

通常授業時、継続的に登録クラスに出席できなくなった場合には、出席できる曜日に登録クラスを変更することができます。変更をご希望の場合には受付までお申し出ください。ただし、変更希望先クラスの定員の都合上、クラス変更ができない場合もあります。

### ●やむを得ず出席できない日がある場合

**通常授業** ▶ 学校行事等でやむを得ず出席できない日がある場合、**同一学年・同一レベル・同一授業週のクラスに限り**、振替出席が可能です。

- 同一レベルが他曜日にないクラスは振替できません。
- 一部、振替出席ができないクラスがあります。事前に、MyPageまたは受付にてご確認ください。
- 英語多読クラスは、事前予約が必要です。振替出席をご希望の場合には、受付までお申し出いただくか、MyPageで事前に振替登録を行ってください。受講人数の状況等により、ご希望に沿えない場合があります。

振替出席をした場合、授業内容には抜けや重複が生じることがあります。下記の「欠席などで抜けが生じた場合」をご参照のうえ、次回の授業までに補ってください。

**季節講習** ▶ 振替出席はできません。

### 欠席などで抜けが生じた場合

次回の授業までに次の方法で補うことができます。ただし、あくまでも補助的なものであることをご理解のうえ、ご利用ください。

### ●中1・中2数学

ご自身でテキストの問題を解き、MyPageに掲載されるテキストの本問解答・復習テストを参考にして確認してください。自習して分からない部分は、次回の授業時に担当講師に質問してください。

### ●中3数学

欠席した登録クラス（または同レベルクラス）の授業ノートを借りたり、復習テスト・宿題プリントをMyPageで確認してください。自習して分からない部分は、次回の授業時に担当講師に質問してください。

\*授業ノートの貸し出し、プリントの受け取りは、**受講票をお持ちのうえ**、講師室(T教室1階)にお申し出ください。  
[講師室開室時間：平日15:00～、土曜日12:30～、講習時は授業開始1時間前～授業終了時まで(日曜日は休み)]  
授業ノートは各自でコピーしてください(T教室1階にコピー機[有料]があります)。  
\*一部、授業ノートがないクラスがあります。ご了承ください。

### ●英語多読

授業の性質上、授業ノートはありません。ネイティブ講師のパートについては、宿題内容をお問い合わせのうえ、自習してください。自習して分からない部分は、次回の授業時に日本人講師にも質問できます。

\*多読以外の宿題の内容・有無は学年レベルによって異なりますので、お問い合わせください。

入会試験を受験

4月からの通常授業は**春期講習の内容を前提にスタート**しますので、入会をご希望の方は、春期講習の「指定講習」(もしくは「新規生専用講習」)を受講してください。通常授業は**すべて選抜制**ですので、別途入会試験をお申し込みください。なお、春期講習に入会試験が付属している以下の講座については、試験のお申し込みは不要です。

中1	英語多読A/B/C	数学A/B
中2	英語多読Bプラス/Cプラス/B/C/D	数学X入会
中3	英語多読C/D/E 英語多読多聴R/入門	数学X入会/CD入会

※春期講習をやむを得ない事情で受講できない方は、別途、新規入会試験を受験して、その結果クラスで4月から入会してください。  
\*数学Extremeβの試験については、専用のご案内プリントをご覧ください。

入会試験申込方法

《試験日時・試験範囲・結果発表日》

1月下旬に公開される「試験要項」をご覧ください。Webでもご覧いただけます。  
[トップページ](<http://www.seg.co.jp/>)→[入会案内]→[入会試験]

《申込》

受付窓口で、各試験日の2日前までにお申し込みください。

●必要なもの

用 紙：試験申込書・メイト会員登録票・希望曜日届 ※受付窓口でお渡しいたします。  
受験料：SEGが初めての方…メイト会員登録料500円+受験料(1科目1回1000円)  
メイト会員の方……………受験料(1科目1回1000円)  
過去に通常授業を受講していた方…無料

試験結果の確認

SEG MyPage (<https://www.seg.co.jp/mypage/>) → [試験結果の確認] にてご確認ください。  
その他詳細は、試験要項にてご確認ください。

入会手続

以下のものをご用意のうえ、窓口または郵送にてお手続きください。

・受講申込書 ・入会申込書 ・口座振替依頼書  
・入会金 25,000円(数学Extremeのみ受講の場合は不要です) ・受講料

※申込書他について

・受講申込書  
・入会申込書  
・口座振替依頼書

入会試験のお申し込み時に窓口にて、もしくは講習内試験の発表日までに郵送にてお渡します。  
\*振替口座のご登録は、キャッシュカードでも可能です。

※入会金および受講料について

・初回のみ、現金または振込にて、ご精算をお願いいたします。次回以降の受講料は、口座振替とさせていただきます。クレジットカードはご利用いただけません。  
・年間の受講料は、別冊子「入会手続のご案内」をご参照ください。  
・受講料にはテキスト代、消費税が含まれます。

通常授業を受講

教室は、授業初日にH教室前で配布する「教室割表」でご確認ください。

以下のWebでも、授業前日の21:00までに公開いたします。

・SEG MyPage (<https://www.seg.co.jp/mypage/>)  
→ [カレンダー・欠席／振替予約] もしくは [教室割]  
・SEGホームページ (<http://www.seg.co.jp/>)→[会員の方]→[教室割]

SEG  
MyPage



通常授業4-6月期 開講曜日一覧

4/10(火)～7/2(月) 全12週

曜日		月	火	水	木	金	土昼	土夜
		17:15～20:15					14:00～17:00	17:40～20:40
中1	英語多読A/B/C	○	○	○	○	○	○	○
	数学A/B	○	○	○	○	○	○	○
中2	英語多読B/C/D	○	○	○	○	○	○	○
	数学B/C	○	○	○	○	○	○	○
	数学X							○
中3	英語多読C/D/E	○	○	○	○	○	○	○
	多読多聴R	○						○
	数学C/D	○	○	○	○	○	○	○
	数学X							○

- (1) 開講曜日・クラス編成・担当講師は予告なく変更となる場合があります。詳細は、1月下旬にWebに掲載される「通常授業曜日・時間・講師表」でご確認ください。  
[トップページ](<http://www.seg.co.jp/>)→[会員の方]→[通常授業曜日・時間・講師表]  
(2) 曜日によっては、全レベルが開講されない場合や、レベルが合併されるクラスもあります。  
(3) 数学Extremeα・数学Extremeβの開講日程は月1回です。専用のご案内プリント・Webでご確認ください。

通常授業4-6月期 受講料(消費税込み)

学年	講座名	I期 4/10～5/21	II期 5/22～7/2
中1	中1英語多読	40,800円	40,800円
	中1数学	31,600円	31,600円
中2	中2英語多読	40,800円	40,800円
	中2数学	31,600円	31,600円
中3	中3英語多読C/D/E	37,100円	37,100円
	英語多読多聴R	37,100円	37,100円
	中3数学	31,600円	31,600円

※数学Extremeα・数学Extremeβの受講料は専用のご案内プリント・Webでご確認ください。1回(1日)単位でお申し込みを承ります。